

2024年6月28日

各位

上場会社名 株式会社 Success Holders
代表者 代表取締役社長 下村 優太
(コード: 4833 東証グロース市場)
問合せ先責任者 管理部管掌執行役員 岩崎 雅一
(TEL 03-5786-3800)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2023年6月30日に「上場維持基準への適合に向けた計画」（以下、計画書）を提出し、その内容について開示しております。

2024年3月31日時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年3月31日時点における東証グロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、「時価総額」については上場維持基準を充たしておりません。

当社は、2025年3月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き計画書に基づき、各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の適合状況及びその推移	2023年3月末時点	3,319人	98,859単位	10.9億円	39.7%	27.6億円
	2024年3月末時点	2,959人	98,963単位	8.4億円	33.8%	25.1億円
上場維持基準		150人以上	1,000単位以上	5億円以上	25%以上	40億円以上
適業状況		適合	適合	適合	適合	不適合
計画期間		-	-	-	-	2025年3月末

(注) 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに、当社にて算出を行ったものです。

(ご参考) 時価総額の基準日時点の状況

株価 85.72円(※) × 株式数 29,302,015株 = 25.1億円

※株価は事業年度の末日等以前3か月間(2024年1月1日~2024年3月31日)の日々の最終価格の平均値

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2024年3月31日時点）

当社は、「時価総額」についてのみ上場維持基準を充たしておりませんが、その要因は、当社株価の低迷によるものと認識しております。

株価向上に向けて、早期に黒字化を目指し、安定的に業績を向上させ、中長期的な視点で企業価値を高めることにより、「時価総額」を増加させ、本来の上場維持基準が適用される2025年3月1日以後に到来する基準日である2025年3月末までに上場維持基準に適合させることを基本方針といたします。

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）における取り組みの実施状況及び評価は、下記のとおりです。

（1）優秀な人材の採用

2024年3月期においては、計画的な新卒及び中途採用を実施したこと及び人材紹介エージェントと緊密な関係を構築したことにより、46名の採用を達成しました。

2025年3月期以降においても継続して優秀なコンサルタント人材の積極的な採用を図ってまいります。

（2）長期安定雇用の実現

当社は、人材の採用と同程度に採用した人材の長期定着が安定的な成長において重要であると認識しております。

その実現に向けて、2024年3月期においては、以下の具体的な施策を実施しました。

① 人材の教育体制の強化

- 各個人のキャリアパスの明確化及び提供
- eラーニングプラットフォーム等を利用した定期的なスキルアップ研修の実施
- メンタープログラムの実施
- 社内勉強会やワークショップの開催

② 長期安定雇用の実現

- 公平で透明性のある人事評価制度の再構築
- リモートワーク導入及び資格取得支援制度の拡充
- 定期的なミーティングやアンケート実施等による経営陣と従業員間のコミュニケーション強化

2025年3月期以降においても継続してコンサルタントが自らの成長を実感でき、自社に対して愛着を持てる環境の整備、並びに彼らのスキルを様々な領域で伸ばすことのできる教育体制の整備をすることで、より多くのクライアントの様々なニーズに応えられる付加価値の高い人材を輩出していくとともに、早期離職の防止に繋げ、事業基盤の安定化についても図ってまいります。

（3）プロジェクトの適切な進捗管理及び安定した稼働率の実現

当社は、コンサルティング事業が提供する業務について、業務内容がクライアントの要求に基づき定められ、プロジェクト単位で遂行するという特性から、プロジェクトの適切な進捗管理及び安定した稼働率の実現が重要であると認識しております。

その実現に向けて、2024年3月期においては、以下の具体的な施策を実施しました。

① プロジェクトの進捗管理

- プロジェクト受注前及び開始時におけるリスクアセスメントの実施
- プロジェクト管理ツールの活用
- プロジェクトの進捗に対するモニタリングのための定期的なステータスマーティングの実施

② 安定した稼働率の実現

- コンサルタントのリソース管理体制の構築
- 定期的な健康チェックやストレスマネジメントプログラムの導入
- 定型業務自動化の促進

2025年3月期以降においても継続して上記施策を実施していくことで、プロジェクトの適切な進捗管理とコンサルタントの安定的な稼働の実現を図ってまいります。

(4) 安定的な資金調達の確保及び財務基盤の強化

2024年3月期においては、2023年5月19日付「第三者割当による新株式の発行及び親会社以外の支配株主の異動に関するお知らせ」及び2023年6月5日付「第三者割当による新株式の発行に係る払込完了に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、株式会社 The capital に対して第三者割当増資を実施したことにより約500百万円の資金を調達しました。

上記の調達資金のうち、発行諸費用を除いた495百万円の具体的な用途は以下のとおりです。

具体的な資金用途	金額	支出予定時期
① 人材確保に係る採用関連費	400百万円	2023年6月～2025年3月
② 教育訓練に係る研修費及び採用後の教育期間における人件費	95百万円	2023年6月～2025年3月

上記の調達資金のうち、2023年6月から2024年3月末における具体的な資金用途は、「① 人材確保に係る採用関連費」として約67百万円及び「② 教育訓練に係る研修費及び採用後の教育期間における人件費」として約22百万円を充当しました。

残りの調達資金についても、コンサルティング事業の拡大を加速するために、継続して優秀なコンサルタント人材の確保に係る採用関連費等に充当する予定であります。

同時に、2025年3月期以降においても継続して様々な資本政策を検討しながら、安定的かつ機動的な資金調達を通じて、財務基盤の強化を図ってまいります。

(5) 企業ブランド力及び認知度の向上

優秀なコンサルタント人材の採用に結び付く施策として、より多くの候補者に対して優先的に当社を想起させることができるような企業ブランド力及び認知度向上が重要であると認識しております。

2024年3月期については、前述の(1)から(4)の取り組みを優先的に実施していたため、当該取り組みにおける2025年3月期以降については、以下の取り組みを計画しております。

- ブランドストーリーテリングの作成及び対外発信
- デジタルマーケティングの強化

(6) 株主還元施策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、持続的な事業拡大と経営基盤の確立のための内部留保の充実に配慮しつつ、業績状況、財務状況及び事業環境等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を維持することが重要であると認識しております。

2024年3月期については、前述の(1)から(4)の取り組みを優先的に実施していたため、当該取り組みにおける2025年3月期以降については、以下の取り組みを計画しております。

- 配当金の支払い及び株主優待制度の導入
- 株主総会のオンライン化及び決算説明会の実施等による株主とのコミュニケーションの強化
- 長期的な成長ビジョンや戦略の提示

(7) IR/PR活動の実施

株主、投資家の皆様への当社の認知度を高め、企業成長力に対する理解を深めていただくことが重要であると認識しております。

2024年3月期については、前述の(1)から(4)の取り組みを優先的に実施していたため、当該取り組みにおける2025年3月期以降については、以下の取り組みを計画しております。

- IR/PRサイトの充実
- 企業の最新情報、業績の動向及び今後の見通し等のニュースレターのリリース
- ソーシャルメディアの活用及びイベントやセミナーの開催

3. 今後の課題及び取り組み内容

2024年3月31日時点において、「時価総額」についてのみ上場維持基準を充たしていないことから、優秀な人材の採用を軸として計画書に記載の各取り組みを推進し、2025年3月末までに上場維持基準の適合を目指してまいります。

当社の競合優位性及び成長戦略等に関しましては、本日（2024年6月28日）公表しました「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照ください。

引き続き、ステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上